

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 保険薬局・在宅で発生する 不要医薬品の回収廃棄の 実態調査	共著	2011年3月	有害・医療廃棄物 研究 23(2), 85-89	主に保険薬局を対象に、残薬の処理廃棄、患者 への回収廃棄法の指導、そして回収状況などの 実態調査を行った。調査地は日本の平均的モデル となる地方自治体である広島県で、県内の保 険薬局に対して薬局・在宅で生じた不要薬・残薬 の回収処理に関する調査として実施した。 (総ページ数：5頁) (杉原 数美、田山 剛崇、 <u>前田 志津子</u> 、 松尾 寛子、西村 和之、太田 茂) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
2 (学会発表) 薬局内で発生する薬剤粉じん による作業環境汚染調査 [ポスター発表]		2012年3月	第132年会 日本薬学会	薬局での作業環境における大気中粉じん濃 度及び量を測定したところ、散剤調剤時には 薬剤粉じんが大気中に飛散していることが 判明した。また、空気清浄機を使用した場合 は使用していない場合に比べて、粉じん濃度 が減少する傾向にあり、空気清浄機が粉じん 対策に有効であることも分かった。 (<u>前田 志津子</u> 、杉原 数美、高橋 栄子、 他8名)
3 (学会発表) 医薬品粉じんによる薬局内 作業環境場の汚染状況調査 [ポスター発表]		2012年10月	フォーラム 2012： 衛生薬学・環境ト キシコロジー	薬局での作業環境における大気中粉じん濃 度及び量を測定したところ、散剤調剤時には薬 剤粉じんが大気中に飛散していることが判明 した。しかし、錠剤の半錠分割作業では、大 気中の粉じん量の変動はほとんど観察されな かった。作業終了後の調査においては、汚染 範囲の広狭はあるものの、半錠分割と錠剤粉 砕の両作業で、作業者の両手と作業台に粉じ んによる汚染が確認された。 (<u>前田 志津子</u> 、杉原 数美、西谷 洋平、 他4名)
4 (学会発表) 錠剤粉砕時に発生する粉じん 量予測とその軽減策 [口頭発表]		2012年11月	第51回 日本薬学会・ 日本薬剤師会・ 日本病院薬剤師会 中国四国支部学術 大会	錠剤粉砕によりどの程度の粉じんが発生してい るか実験室でモデル実験を行い測定した。併せ て、医薬品粉じんによる曝露を低減する方法に ついていくつか検討を行った。その結果、錠剤 粉砕によってかなりの医薬品粉じんが飛散して いること、また、それによる曝露が室内の換気や 加湿器の使用、マスク着用によって低減できる ことが示唆された。 (西谷 洋平、 <u>前田 志津子</u> 、杉原 数美、 塚本 豊久)
5 (学会発表) 実務実習事前学習へのフィ ジカルアセスメント実習の 導入 ～看護学科との学部 連携の試み～ [ポスター発表]		2012年11月	第51回 日本薬学会・ 日本薬剤師会・ 日本病院薬剤師会 中国四国支部学術 大会	実務実習事前学習における、本学看護学部と連 携したフィジカルアセスメント実習の構築及び実 習に関する学生のアンケート結果について報告 した。学生のアンケート結果からは、本学4年次 生がフィジカルアセスメントの重要性とともに今後 薬剤師にとって必要となるものであることを理解 できていることが明らかとなった。 (木村 幸司、橋本 佳奈、胡田 順子、 <u>前田 志津子</u> 、他10名)